



No. 120 (平成 27 年 7 月 1 日)

おもな内容

ページ

随 想	1
研修講座寸描	2・3
夏季研修講座一覧	3
研究室だより	4
研究協力校の紹介	5
教育講演会・新講座の紹介	6
受講後アンケートの結果・出前講座の紹介	7
心に残る授業 その70・人事短信	8

児童一人一人が自身の体力に応じた目標をもって、継続的に体をきたえようとする意欲を育てるため、六月から九月にかけて、中休みにグランドでジョギングを行います。児童にジョギングカードを配付し、一人一人が最低周数を決めて取り組んでいます。

(旭川市立東五条小学校)

随 想

人工知能は未来に

何をもたらすのか



上川教育研修センター

所長 矢口元晴

二十一世紀は、新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す、いわゆる「知識基盤社会」の時代であるといわれている。これは、平成二十年に告示された現行学習指導要領改訂の経緯を解説した現行学習指導要領。それから七年後の現在、世界は急速な技術革新のただ中であり、第四次産業革命の時代を迎えているとさえ言われています。

昨年、東京のお台場にある日本科学未来館を訪れましたが、そこで見た自律型ヒューマノイド(写真)の進化には驚かされました。ランニングは言うに及ばず、会話をしながら手話を交えて歌うなど指先まで人間と同じ柔らかな動きをする能力が備わっているのです。「アトム(手塚治虫原作)をつくれ」という上司の言葉からはじまったというこの二足歩行ロボットは、現在、更に進化をとげ、搭載される人工知能も更新され続けています。五年後の東京オリンピックには、ロボットオリンピックを開催する計画もあります。そして、この調子で科学技術が進歩し続ける、いつの日か人類の知能を凌駕する日がくる事はそう遠い話ではなさそうです。様々な電子機器に搭載される人工知能が人類の英知を越える日を「技術的特異点」と呼んでいます。そのXデ이는、遅くとも今から三十年後の二十四十五年頃と予想する科学者もいます。これは、さほど遠い未来の事ではなく、現在の小学校一年生が三十歳半ばとなり社会の中堅として働く時には、実

現しているかもしれない話なのです。そんな社会で求められる人生観や価値観とは一体どのようなものなのでしょう。昨年封切られたジョニー・デップ主演の映画「トランセンデンス」にもありました。人類を超える人工知能は、世界人口急増による環境悪化の問題や日本の少子高齢化による労働人口の減少、高度医療技術が必要とする病気治療など様々な難問を解決してくれるかもしれません。しかし、人類は、その利便性や快適さの陰に、社会制度の不適合など今までも誰も予想さえしなかった多くの難題に直面することになるでしょう。もはや様々な領域で人工知能を導入するというパンドラの箱は開けられ、日々刻々と進化しており、解決しなければならぬ課題に直面しつつある状況です。もし、人間だけが持つ高度な情動である「心(意志)」をコンピュータが持つことになったとしたら…。



※	7月1日	※	6月29日	4月15日	4月17日	4月23日	5月12日	4月15日	4月17日	4月23日	5月12日	6月29日	7月1日	※
随時	毎週火曜日	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
※	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時
※	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時	随時

センター日誌



小学一・六年生の「栽培活動」の様子です。近くの牧場からもらってきた堆肥をビニールハウスの畑に先生と一緒に土に埋めているところです。(占冠村立トマム小中学校)

(学校WEBサイト制作)

センターだより第120号発行

定例研究室会議

研修講座講師打合せ会議

研修講座
寸描
その1

講師委嘱状交付式、 講座内容研究協議会



四月十五日、三十六講座の講師八十九名にお集まりいただき、研修講座の講師委嘱状交付及び講座内容研究協議会を実施いたしました。

始めに、上川教育局、旭川市教育委員会の方々が見守る中、センター組合小池語朗教育長から、松永博一当麻中学校長が講師の代表として委嘱状を受け取りま

した。

その後の講座内容研究協議会では、教育の今日的課題を追究できる講座づくりを目指して、内容・日程等について具体的な打合せが行われました。

五月十二日の研修講座「いじめ・不登校」を皮切りに、本年度の研修講座がスタートしました。

1 いじめ・不登校 5/12

鳴川講師▶



◀清水講師

不登校についての認識の変遷、不登校のタイプ別の特徴、早期発見のポイント、配慮や指導の方法、不登校生徒・児童の実態など、初めて知ることが多くありました。早速、今後の実践に生かしたいと思います。ありがとうございます。

(旭川市立旭川小学校 吉住 亮太)

講座の様子から

|| 講師 ||
鳴川 啓子 (青雲小 教諭)
清水 達也 (東光中 教諭)

◀竹森講師

▼津川講師



自立活動について、一人一人の関心感にアプローチしていくための指導計画や教材・教具、方法について、経験豊かな講師のお二人に教えていただきました。日々の実践交流もあり、今後の実践に生かせる内容で、大変感謝しています。

(鷹栖町立鷹栖小学校 小野 可奈)

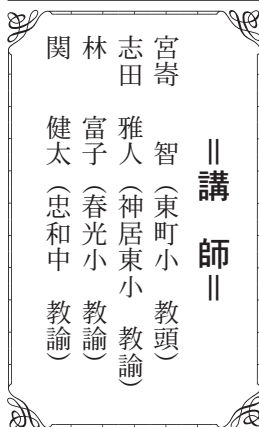
2 特別支援教育 5/13

|| 講師 ||

津川 周一 (北海道立特別支援教育センター 教育課)
竹森 邦子 (永山西小 教諭)
櫻田 美樹 (日章小 教諭)
玉置 由香 (北星中 教諭)

3 学級経営 5/14

▼宮寄講師



▲志田講師

学級における児童生徒一人一人が輝ける場所づくりについて、実践に基づいた講義、提言をいただき大変有意義な時間を過ごすことができました。研究交流では、受講した先生方の課題を共有し、指導力の向上につなげることができました。
(旭川市立神居東小学校 三原 彬敬)

夏季休業を利用して研修を深めませんか？

夏季休業中及び夏季休業直後の研修講座申込みを随時受け付けております。
希望される場合は研修センターにご連絡ください。(FAX 0166-24-2512)

開催期日	研修講座名	会場	備考
7月28日(火)	国語科指導①	研修センター	2回目 9月8日(火)
7月29日(水)	外国語科(英語)指導①	研修センター	2回目 9月2日(水)
7月29日(水)	算数・数学科指導①	研修センター	2回目 9月2日(水)
7月30日(木)	道德教育①	研修センター	2回目 9月1日(火)
7月30日(木)	タブレットPC入門①	研修センター	パソコン実技研修講座
7月30・31日(木・金)	学校事務実務	研修センター	2日間日程
7月31日(金)	理科指導①	研修センター	2回目 9月8日(火)
8月3日(月)	表計算入門(個別)	研修センター	パソコン実技研修講座
8月4日(火)	学校力向上対策	研修センター	第15次新設講座
8月4日(火)	タブレットPC活用①	研修センター	パソコン実技研修講座
8月5日(水)	生活科・総合的な学習の時間①	研修センター	2回目 10月15日(木)
8月5日(水)	生徒指導①	研修センター	2回目 9月9日(水)
8月6日(木)	社会科指導①	研修センター	2回目 10月9日(金)
8月6日(木)	幼小連携教育	研修センター	名称変更した講座
8月7日(金)	表計算活用①	研修センター	パソコン実技研修講座

～夏休み終了直後に行われる研修講座～

8月26日(水)	I C T活用	新富小	旧「指導技術基礎」講座
8月26日(水)	技術・家庭科実技	緑が丘中	今年度は中学校の授業公開
8月28日(金)	学級活動	高台小	今年度は小学校の授業公開
8月28日(金)	図工・美術科実技	春光台中	今年度は中学校の授業公開
8月31日(月)	教育講演会	大雪クリスタルホール	本誌6ページ参照
9月1日(火)	道德教育②	永山小・北門中	
9月2日(水)	算数・数学科指導②	近文小・神楽中	
9月2日(水)	外国語科(英語)指導②	東光中・北光小	

今、研究室では… 第16次研究の2年次がスタート！

研究主題

学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方
～思考力・判断力・表現力を育む指導と評価～

1 年次

3 段階の言語活動で
思考力・判断力・表現力の向上を目指しました！

詳しくは紀要40号
をご覧ください！

「3 段階の言語活動」の更なる充実を目指し…！

2 年次

思考の明確化

何をどのように
考えさせるか？

思考をどのように取り上げ、
どのようにまとめるか？

を、より具体的に設定することで、さらなる
思考力・判断力・表現力の向上を目指します！

6/22(月)

センター所員研究授業

9/14(月)

研究員 2 年目
東神楽小学校
小田島 充彦



小学4年 社会科「火事からくらしを守る」

学習課題を「消防団の仕事は、なぜ必要なのか考えよう」と設定し、教科特性を生かした3段階の言語活動を実践しました！

研究員 1 年目
神居東小学校
川村 貴弘



小学2年 生活科 ※単元内容は未定です

所員の研究授業としては、実施回数の少ない教科のため、ぜひ多くの先生方に参観いただき、ご指導・ご助言をいただきたいと考えています！

平成27年度「研究協力校の紹介」

旭川市立末広小学校

（研究主題）

「進んで伝え合い、共に高め合う子どもの育成」
「話すこと・聞くこと」を通して

一 研究の重点

「話すこと・聞くこと」の学習を通して、見通しをもつ適切な言語活動の位置付けと学習過程の工夫を図ることにより、伝え合う力を互いに高め合い深め合う子の育成を目指す。

二 研究の内容

○単元を貫く言語活動の位置付けの工夫
○単元を貫く言語活動と関連付けた学習過程の工夫
○付けた力を明確にした学習活動の工夫

三 研究計画

4・5月 研究内容・研究計画の共通理解
6・7・8月 指導案検討・校内授業研
9月 指導案検討
10・11月 指導案検討 校内授業研 自主公開研（11/13）
12月 研究の振り返り
1・2月 研究のまとめ 次年度に向けて



東神楽町立東聖小学校

（研究主題）

「自ら考えを深める子どもの育成」
「思考力・判断力・表現力を育む指導の在り方」

一 研究の重点

単元を貫く課題設定した授業展開を工夫すること、知識・技能の習得を目指す思考場面のあり方や、考えたことを自ら表現することを目指した交流場面を設定することにより、友だちの考えを自分の考えに加え、考えることが楽しい、楽しいから「わかる」、もつとわかりたいと、自ら考えを深めようとする子どもの育成を目指す。

二 研究の内容

①意欲をもたせるための単元を貫く課題の工夫
②既習の知識をつなぎ合わせるための思考場面の工夫
③子どもが思考を深めるための交流場面の工夫

三 研究の計画

4月～6月 研究内容の共通理解と提案授業
7月～8月 実践に基づく方向性の検討と確認
9月 ブロック研に向けた指導案検討
10月 修正研究内容に基づく授業研究の実施（二本）
11月 校内授業研究（一本）と振り返り
12月 研究の振り返り
1月～3月 研究のまとめ 次年度の方向性



旭川市立神居東中学校

（研究主題）

「確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ生徒の育成」
「学び合いを通して思考力・判断力・表現力を育む学習指導の工夫」

一 研究の重点

設定や振り返りの活動を充実させ、基礎・基本の定着や家庭学習の意欲化を図る。問題解決的な学習過程の中に、生徒相互の学び合いの場を位置付け、個と集団の向上を目指した学習指導の工夫を図る。

二 研究の内容

①指導計画・評価の工夫
・目標・まとめ・評価の一体化
・学び合いの意図的な位置付け

②授業展開の工夫

・学習内容の明確化と学びを振り返る場の設定
・学び合いの場と形態の工夫

三 研究計画

4・5月 研究内容・研究計画の共通理解
6月 各教科における理論研究・実践
7・8月 研究授業の構想・指導案検討、外部講師招聘による学習会
9～11月 校内授業研究
12月 研究のまとめ
1～2月 次年度に向けて



上川教育研修センター

教育講演会

・と き 8月31日(月) 14:00～16:30

・ところ 旭川市大雪クリスタルホール 大会議室
(旭川市神楽3条7丁目)

演 題

「誰もが行きたくなる学級・学校を造る」



講師 広島大学大学院教育学研究科 教授
栗原 慎二氏

＜講師略歴＞ 1959年 青森県生まれ
・埼玉県内の公立高等学校3校で18年間勤務
・埼玉大学大学院文化科学研究科、兵庫教育大学大学院
学校教育学研究科を修了、学校教育学博士 文学修士
2003年 広島大学大学院准教授
2008年 広島大学大学院教授

【講師紹介】

日本カウンセリング学会認定スーパーバイザー、日本ピア・サポート学会認定ピア・サポート・コーディネーター、文部科学省「不登校生徒に関する追跡調査研究会」委員。

現在、子どもたちの持つ力を生かす学校カウンセリングの開発を目指して、ピア・サポート（仲間による支援）、ブリーフカウンセリング、協同学習、不登校の子どもたち・保護者への支援等をテーマに研究を行う。また、世界各国の生徒指導・教育相談の現状や教員研修システムを視察し、日本における生徒指導・教育相談の在り方について研究開発を行っている。

主な著書に「アセス（学級全体と児童生徒個人のアセスメントソフト）の使い方・活かし方」等多数。

教育界には課題が山積しております。ぜひ「教育講演会」にご参加いただき、お一人お一人が抱える課題の解決に努めていただければと考えております。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、申込みは、当研修センターまでお願いします。

上川教育研修センター
FAX(0166-24-2512)

新設・改編講座の紹介

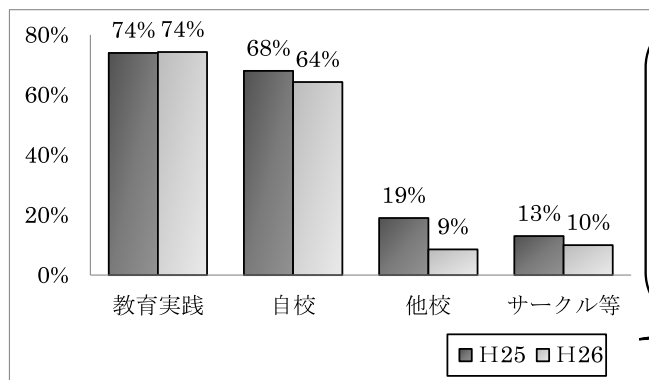
・今年度より下記の講座が新設・改編されました。

新講座名	開催日	会場	講座内容
学校力向上対策 ※ミドルリーダー向けの 新講座です！	8月4日 (火)	研修 センター	多くの今日的教育課題に対応するため、年度ごとに課題を設定し、講義・提言・研究協議を行う講座を新設しました。今年度は、「学力向上」をテーマに取り上げ、研修を深めます。なお、平成28年度は、「小中連携」、平成29年度は、「キャリア教育」をテーマとする予定です。
幼小連携教育	8月6日 (木)	研修 センター	今までの「幼稚園教育」講座を改編し、幼小連携を強く意識した講座です。幼児教育と小学校教育を円滑に接続させる指導の在り方についての研修を一層深めます。今年度は、「小1プロブレム」等について取り上げます。
ICT活用	8月26日 (水)	新富小	今までの「指導技術基礎」講座を整理・改編し、授業改善に生かすICT活用に特化した講座です。講義・実技の他に、研究授業公開も行います。今年度は、機器を複数用いたメディアミックスを取り上げます。
学校・家庭・地域の 連携（社会教育）	10月8日 (木)	研修 センター	今までの「社会教育」講座を改編し、学校・家庭・地域の連携を強く意識した講座です。大学・民間関係者や教育委員会社会教育主事等を講師に、講義・提言・研究協議を行います。今年度は、「学力・体力向上」をテーマに取り上げます。

平成 26 年度 受講後アンケートの集計結果 ～ご協力ありがとうございました～

研修講座の受講後2～3か月後をめどにお答えいただく「受講後アンケート」を実施しております。お忙しい中にもかかわらずご回答をいただきまして、ありがとうございました。昨年度の結果をまとめましたので、お知らせいたします。

設問1 研修終了後、児童生徒や同僚教職員、他の学校の教職員等に研修成果の発信することができましたか。

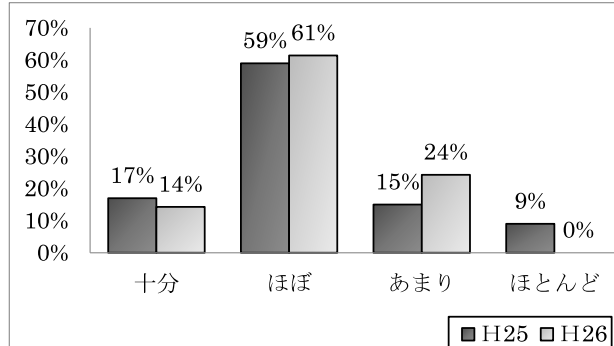


74%の先生方から「教育実践に役立てられた」との回答をいただきました。

研修成果の発信先については、左図の通りですが、記述内容から、教育研究団体や全道大会などにも幅広く活用いただいていることがわかりました。

今後も日常実践に生かしやすい講座内容にしていきたいと考えています。

設問2 研修終了後、自校や校外研修会等で、研修内容を活用し、自己の指導内容や方法の工夫改善ができましたか。

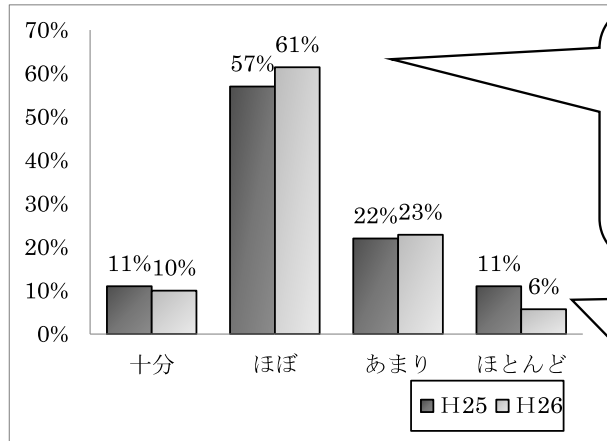


「十分にできた」と「ほぼできた」を合わせると75%の先生方から指導内容や方法の工夫改善に役立てられたという回答をいただきました。

「学習形態について工夫する際に参考になった。」「児童・生徒の実態に応じた指導の工夫を図ることができた。」「校内研究に情報を提供し、広く共有することができた。」など、具体的な工夫改善が記述されていました。

受講者のニーズに合った講座内容となるように努力したいと思います。

設問3 研修内容を広げたり活用したりした結果、児童生徒や対象の教職員に効果や変容がみられましたか。



「十分に見られた」「ほぼ見られた」を合わせると71%の先生方から受講後に効果・変容があったと回答をいただきました。「教職員が積極的になることにより、生徒の側も主体的に授業に臨むような雰囲気を感じられるようになった。」「生徒への声掛けを意識することで、スムーズな教育活動を展開できた。」などの具体的記述が多くありました。

また、「あまりみられなかった」「ほとんどみられなかった」を合わせると29%の先生方から回答をいただきました。「まだ改善の必要性を感じる。」「変容が見られたが、継続指導が必要である。」「時間が足りずうまく広げられなかった。」などさらに研修を深めたいという記述が多くありました。

今年度も、引き続き「受講後アンケート」を実施いたします。受講後2～3か月後をめどに、当研修センターWEBサイト上で、短時間にてご回答いただくものです。パソコンはもちろん、タブレットや携帯端末からもご回答いただけますので、今年度のご協力よろしくお願いいたします。

「出前講座」の申込みをお待ちしております

教科指導をはじめ、生徒指導・特別支援教育・今日的な教育課題・パソコン実技・各種実技指導など、様々なニーズに合わせての講師派遣を行っております。当日は、担当のセンター指導員が運営いたします。「研修講座開催要項」P30に掲載しております「出前講座申込書」に必要事項をご記入の上、直接当センターへFAXで送付しお申込みください。

申込みは、随時受け付けております。校内研修や実技研修などにお役立ていただけますので、どうぞお気軽にお問い合わせいただきご活用ください。

心に残る授業

その70



旭川市教育委員会
教育指導課主査
工 藤 秀 敏

子どもたちの目の前には、身の回りにある様々な物と自動上皿ばかりが置いてあります。黒板やノートを見ながら実験の方法や予想を確認したり、自分が実験で使う物を隣の子どもに紹介したりしながら、チャイムが鳴るのを今や遅しと待っています。小学校三年生「物と重さ」の授業です。

授業が始まると、子どもたちは、アルミニウム箔を小さく折りたたんだり、コピー用紙を細かく切ったり、針金を曲げて球にしたりして、何度も重さを量っていました。そして、ノートに、どのように形を変えたのか、また、形を変える前と変えた後の重さや結果から気が付いたことを記入していました。その後は、あちらこちらで、興奮した様子で実

験結果について話し合う子どもの姿が見られました。

前時までに、粘土を用いて、形が変わっても重さは変わらないことを学習していますが、本時では、「粘土以外でも変わらないのだろうか。」という問題について追究していました。

ここでは、物の形や体積、重さなどの性質の違いを比較する能力を育てるとともに、それらの関係の理解を図り、物の性質についての見方や考え方をもちことができるようになることが大切です。

そのためには、この授業のように、体験的に様々な物に触れることで、考察し表現する活動を豊かなものにし、その言語活動を通して、物の性質についての考えをもたせることが重要であると感じました。

まさに、体験を基盤とした言語活動を位置付け、理科の学習を始めたばかりの三年生にとって、意味や価値のある問題解決が展開された授業でした。



人事短信

平成二十七年年度就任・退任研修センター所員を紹介します。

事務部長 佐藤美恵子



魅力あり、親しまれる研修センターであるために事務部としてお手伝いさせていただきます。よろしく願っています。



研究事業部長（愛宕東小） 武山 昌裕
上川管内の各学校の研究に活用できる内容や実践になりますよう努力して参ります。どうぞよろしく願っています。



指導員（東町小） 増子 淳一
実り多い研修講座となるように心掛け、精一杯努力いたします。どうぞ、よろしく願っています。



研究員（鷹栖中） 齊藤 悦代
毎日の授業で活用できる研究を心がけ、少しでも貢献できるように努力して参ります。どうぞ、よろしく願っています。



研究員（神居東小） 川村 貴弘
管内の各学校で活用していただける研究となるよう精一杯努力して参ります。どうぞ、よろしく願っています。

退任 お世話になりました。

前事務部長 川渡 邊 修二
（旭川市立北鎮小）

前指導員 吉 田 明 弘
（旭川市立西神楽小）

前研究員 相 澤 朋 子
（旭川市立共栄小）

前研究員 堀 川 誠 二
（東神楽町立東神楽中）

○研修センター所員

所 長	矢口 元晴
副 所 長	小谷 要次
事務部長	佐藤美恵子
事務係	小林 晴美
事務係	笹谷 青子
指導員	森木 真也（大有小）
指導員	村田 靖彦（愛宕中）
指導員	増子 淳一（東町小）
指導員	佐々木 玲（日章小）
研究事業部長	武山 昌裕（愛宕東小）
研究員	清杉 陽一（緑が丘小）
研究員	青木 賢二（明星中）
研究員	小田島充彦（東神楽小）
研究員	竹中 一三（旭川第三小）
研究員	齊藤 悦代（鷹栖中）
研究員	川村 貴弘（神居東小）



発行日

平成二十七年七月一日
上川教育研修センター
〒〇七〇一〇〇三六
旭川市六条通四丁目
電話〇一六六二四二五〇一

責任者
印刷所

矢口 元晴
谷川印刷株式会社

※この用紙は再生紙（古紙70%）を使用しています。